

新型コロナウイルス感染「緊急事態宣言」にともなう要請

千葉県知事 森田健作 様

2021年2月2日 日本共産党市川浦安地区委員会
日本共産党市川市議団

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、2回目の緊急事態宣言が発せられました。市川市でも、連日二桁の感染者が確認され、高齢者施設、保育園、高等学校などクラスターも多数発生しています。医療関係者、介護施設関係者、飲食事業者、自治体職員など懸命に努力しているにもかかわらず、「宣言」後も、感染拡大は減少するどころか、増えている状態です。

市川市では、19日から、65歳以上の高齢者に唾液によるPCR検査がはじまりました。市川市に要請をした際に、自宅待機の感染者に食料品や日用品を届けていますが、何人待機しているのか、ホテルで何人療養しているか、市川市にはまったく知らされていません。なぜ、知らせることができないのか。知らせる必要があるのではないかと思います。自宅待機の感染者が容態を急変させ命を落とすことがないようにしてもらいたいと思います。

エッセンシャルワーカーへのPCR検査の拡充など、感染急拡大を抑えるためのさらなる対策を講じなければ、いっそうの感染拡大、「医療崩壊」は必至であり、市民の命と健康を守るために、以下の事項について、要請します。

要 請 事 項

- 1 市川市など自治体へ情報を共有すること。
- 2 医療関係者や高齢者施設等の関係者などエッセンシャルワーカーへのPCR検査を早急に実施すること。
- 3 自宅待機の感染者への必要な食料品・日用品の欠くことがないように対策を講じること。
- 4 軽症者や無症状者への対応で、ホテルの確保を急ぐこと。
- 5 生活困窮者、低所得者に対して、新たに給付金を支給すること。
- 6 千葉県感染拡大防止対策協力金の周知、徹底をはかること。